

臨床栄養部（総合心療センター）

主任 川崎 麻由

人事

総合心療センターでは入院患者 60 床に対して 1 名の管理栄養士が常駐している。

業務・取り組み

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、入院患者に対する治療プログラムへの参加を控え、主に病棟栄養管理業務（低栄養患者への食事内容・経腸栄養・点滴の調整や、過剰栄養患者への食事相談）、外来栄養食事指導やデイケア・パティオでの食育活動、臨床栄養部全体のシステムやマニュアル改訂を兼務する形となった。

食数

1 食平均提供食数は、46.8→41.3 食と減少は続いているが、その中で濃厚流動食数は大幅な増加（2019 年と比較して約 8 倍）を認めていた。摂食障害患者に限らず、低栄養もしくは低栄養に陥るリスクの高い患者の入院が多かったことが要因と思われる。

表 1 給食状況報告

年間食種別食数			
一般食	常食	27,785 食	61.4%
	全粥・流動・分粥	3,395 食	7.5%
特別食	加算	10,409 食	23.0%
	非加算(嚥下食含む)	2,382 食	5.3%
濃厚流動食		1,267 食	2.8%
合計		45,238 食	100.0%

栄養食事指導件数

入院栄養食事指導件数は、例年通りであったが、外来栄養食事指導件数は上昇を認めた。外来指導件数の増加に向け、退院時に栄養指導の予定を組み込む取り組みを継続した結果、新規患者数は 16 名と例年以上の結果であった。その効果、152 件から 225 件へと増加を認めた。感染拡大に注意しながら取り組みを標準化させ、他の業務との調整を行い、在宅支援の一環としての栄養サポートを継続していきたい。

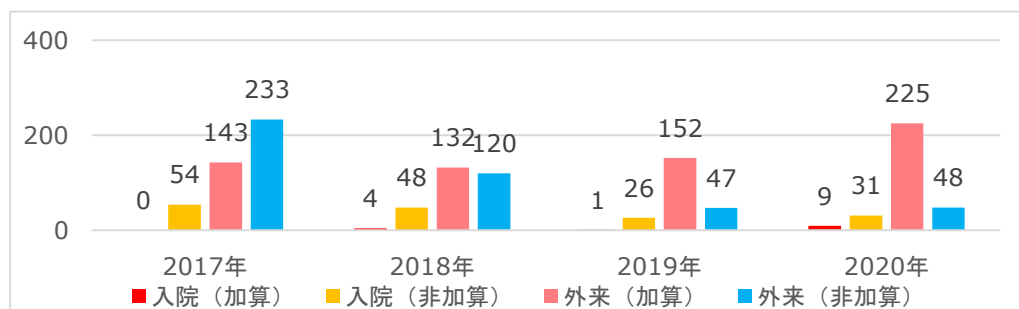


図 1 栄養食事指導件数